

日新輝道



東大阪市立日新高等学校
校長室通信 日比野 功

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

2021. 01. 06 発行

日新高校は、「日本一」輝きを放つ学校をめざします！

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」で夢を実現させます！

2021 新たな始動、躍動！ 日新高校を「日本一輝きを放つ学校に」

～一生懸命、ていねい、ひたむきであることがキラリと輝きを放つ～

2021年がスタートしました。みなさん新年あけましておめでとうございます。今年は、昨年からの新型コロナウイルス感染症に関する深刻な話題が多い中の新年となりました。4月の緊急事態宣言から始まり、6月分散登校を経て通常登校が始まったものの、修学旅行をはじめとした様々な学校行事、そして部活動における大会やコンクール、大学や就職といった進路状況に至るまで、以前として通常とは異なった気配りを要し、規制をかけなければならない状況です。高校生として、未来にはばたく若者として、そして日新生として、当たり前前を当たり前前に実行し、キラリと輝きを放って欲しいと願っています。新年を迎え、新たな気持ちで新たなスタートを切り、自らをさらに進化させてください。一生懸命に頑張ることが、キラリ輝くという話を紹介します。

少し前の話ですが、大分県のある女子高校生が陸上部に所属し県代表を目指していました。彼女はとても頑張り屋さんで、学校生活の態度もよく、何事にも真面目に取り組む生徒でした。県代表の座はわずか6名の狭き門でした。いよいよ代表を決定する大会当日がやってきました。高校3年間だけでなく、小中学校時代から目標に向かって練習に取り組む本人を、支え続けてこられた両親だけではなく、孫の晴れ舞台を一目見て応援したいというおばあちゃんも一緒に応援に来られていたそうです。おばあちゃんは年もとりに、これといった趣味もないけれど、孫の頑張りを見たり聞いたりすることを自分の生きる楽しみとして応援し続けて来られていたそうです。ところが無情にも結果は7位、彼女は必死で取り組み夢としていた県代表の座を勝ち取ることができなかつたので、その生徒は泣き崩れ、そして落ち込み、陸上で大学進学を目指していたこともどうでも良くなり、モチベーションも薄れてしまいました。「自分なんか頑張っても無駄だ」と吐き捨て、陸上はもうやめようと思ったそうです。彼女のことは見守り、土曜も日曜も、夏休みも冬休みも、練習に向かう我が子を応援し続けてきた両親も、当然、残念で仕方がない気持ちでした。しかし、お母さんが彼女に、「頑張ったことは無駄にはならないよ。あなたが頑張ったことは紛れもない事実だから。」と声をかけましたが、その時は

本人の心には届きませんでした。しばらくたって、両親も大学で陸上を頑張る彼女の姿を見るのをあきらめていた頃、おばあちゃんから一通の手紙が届きました。その内容は、「おばあちゃんは、あなたが一生懸命頑張っていたのを以前から聞いていたけれど、初めて実際に一生懸命に走っている姿を見ることができてとても幸せだった。この年になって、こんなに本気で応援できるなんて、そして感動できるなんて思ってもいなかった。あなたのおかげだよ。ありがとう。」というものでした。この手紙を受け取った彼女は、「自分は代表になれなかったのに、こんなに自分を応援してくれていた両親やおばあちゃんがいた。そして自分は、ただ走るだけなのに、おばあちゃんがこんなに楽しみにしてくれていた。他にも自分を支え、応援してくれていた方々がいるはずなのに、自分は自分のことしか考えていなかった。」と思い、もう一度陸上に取り組みさらなる夢へと向かったそうです。彼女がさらなる夢へと向かってくれたことで、両親にも家族にも笑顔と明るい声が戻りました。お母さんは、おばあちゃんにお礼を伝えたそうです。するとおばあちゃんは、「この年になって自分が人の役に立つなんて、思ってもいなかった。」と、今度はおばあちゃんが嬉し泣きをされたそうです。一生懸命にがんばること、それは簡単なことではないかもしれませんが、キラリと輝きを放ち、とても美しく素晴らしいことです。そして多くの人々を笑顔にします。「勝因」とは、「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」、「いい加減」「適当」「だいたい」は「敗因」、そして今すぐ誰にでもできるはずのことは、「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」です。日新高校の生徒諸君、2021年、キラリと輝く生徒でありましょう。

大阪府警本部・枚岡警察署による、リモート防犯教室を実施しました。

12月18日(金)、大阪府警本部・枚岡警察署主催の防犯教室を全校生徒対象に実施しました。これまでであれば、全校生徒が体育館に集まり、警察署の方々から講演をいただくという形で行っていたところですが、コロナ禍の現状を踏まえ、玄関フロアに特設ブースを設け、日新高校に整備されたG Suite for Educationのシステムを使い、各教室へリモート配信でオンライン講習を行う形式をとりました。内容は、昨今、特殊詐欺に際して、高校生が「受け子」「出し子」として実際に関わってしまう実情について、その実態を知り、回避できるようにすることです。高校生が軽い気持ちで大きな犯罪に関わってしまう実情は社会問題ともなっています。当日は、野田市長も来校いただき、特設ブースから直接、本校の生徒にお言葉をいただきました。また、冒頭には枚岡警察署長、久保様からも今回の防犯教室の意義をお伝えいただきました。日新高校の生徒諸君には、今回の講習の内容を他人事にとらえず、しっかりと熟考して欲しいと思っています。

⇒裏面につづきます。



受講に際して、全校生徒にモバイルバッテリーが寄贈されました。

在大阪イタリア総領事館、Luigi Diodati 総領事よりプレゼントが届きました。



昨年度、日新高校に来校いただき、イタリアについての授業をしてくださいました在イタリア総領事館のルイージ・ディオダーティ総領事よりプレゼントが届きました。プレゼントはディオダーティ総領事の授業を受けた現3年3組、4組の生徒が受け取りました。日新高校のことを深く覚えていただいております。心温まる素敵なプレゼントを贈っていただきました。そんなお気持ちを本当に嬉しく思います。受け取った生徒からは、ディオダーティ総領事に、写真とお礼のメッセージを贈らせていただきました。2019年には東大阪でラグビーワールドカップが開催されましたが、こうしたご縁をきっかけに、心や気持ちの交換をさせていただけることは、生徒にとっても本当に大切な瞬間だと感じます。本当に有難うございます。

「信は万物の基を成す」

「信は万物の基を成す」 この言葉はプロ野球元楽天イーグルス監督であられた故野村克也氏の言葉です。野村克也氏と言えばデータを駆使した「ID野球」が有名です。「ID野球」はデータの収集、そして収集したデータの管理・分析、またその分析から得た課題への取り組みから実践に至るまで、まるでこれからの社会の在り方を示しているような内容です。結果を得るためには当然、一生懸命に練習をすることは不可欠ですが、ただ単に時間を使うのではなく、データの分析から得た課題に対して、科学的な理論に基づいた練習を行うことが大切であるということは、すでに承知の通りです。その「ID野球」の野村監督が、「信は万物の基を成す」とも話されています。野村監督は「ID野球」も有名ですが、「野村再生工場」として、選手を再生させる手腕が高く評価されています。実力や能力が高いにも関わらず結果が伴わない、実力や能力を発揮しきれない、あるいは一旦ピークを過ぎてしまったと思われるような選手を、新たな考え方、取り組みで新たな輝きを放つ選手に再生させておられます。その根本となるのは「物の考え方」を変えることです。これまでは、「こうであらねばならない。」といった常識とされる固定観念を、思い切って違った考え方で取り組むことです。その中でも、「人を『生かす』『育てる』『使う』ことは、すべてが『信』が基となっている。」とされ、「信」とは、「信頼」「信用」「自信」であり、「信」は人間の基になると話されています。そして人間は「信」なくしては何事も始まらないと話されています。つまり、どんなにIDを駆使して練習に取り組んでも、選手は、自分に与えられ、また自ら選んだ練習に対して信じて取り組まなければならないし、コーチは選手を信じてコーチングしなければならないということです。ではコーチはどのような選手を信じることができるのでしょうか。形だけ、その場だけ取り繕うのではなく、心から、本気で、目を輝かせて取り組む選手、そのような選手を信じ、そのような選手に期待をかけることができます。IDを駆使されることに有名な野村監督が、IDを駆使する人を大切にされた内容です。日新高校は本気で「日本一輝

きを放つ」ことを目指しています。「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」、信じて貫いてみてください。きっと夢が近づきます。

12/23(水)クリスマスライブを無観客で実施しました。

例年、年末に行われるクリスマスライブを今年度は無観客で実施し、生徒の皆さんにはオンラインで配信しました。Google ClassroomのGoogle Meetを用いて、クリスマスライブ専用Classroomに入るという手順です。生徒は個人のスマートフォン等の端末で視聴できますが、Call教室でも視聴できるように準備していました。ライブスタートの5分前くらいから、次々に生徒が視聴参加していました。Google for Educationを活用して、4月にはできなかったことがいろいろと可能になっています。2学期末テスト前には先生方のテスト対策動画も配信されました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、これまでの生活様式に大きな変化が起こっています。学校生活や授業の在り方にも、今後、急激なスピード感で大きな変化が起こります。日新高校でも、こうした変化に対応し、新たな学校文化を創造していきましょう。



クラブ等の表彰

軽音楽部 全国高等学校選抜ロックフェス 入選 バンド名「つくしら。」

田村鈴(1年枚岡中) 山下夏葉(1年枚岡中) 向井桜子(1年上之島中)

國分陽奈(1年上之島中) 目黒花奈(1年孔舎衛中)

バドミントン部 第71回府商協バドミントン大会 男子団体戦 優勝 女子団体戦 2位

男子シングルス 優勝 東本隼輝(2年盾津中)

2位 厚ヶ瀬大貴(2年縄手北中) 3位 近松和弥(2年池島中)

男子ダブルス 優勝 有川晴哉(1年花園中)・岡田智矢(1年孔舎衛中)

3位 管田明日斗(1年くすは縄手南校)・山邊奨悟(1年花園中)

女子シングルス 3位 川西ひな(2年英田中)

女子ダブルス 2位 服部夢生(1年小阪中)・笠原亜起(1年盾津中)

第3学区高等学校バドミントン北地区競技大会

女子単I部 優勝 服部夢生(1年小阪中) 2位 笠原亜起(1年盾津中)

女子複I部 優勝 服部夢生(1年小阪中)・笠原亜起(1年盾津中)

女子単II部 優勝 大井咲来(1年英田中)

第14回第3学区高等学校バドミントン大会

男子複 準優勝 東本隼輝(2年盾津中)・有川晴哉(1年花園中)

女子複 準優勝 笠原亜起(1年盾津中)・服部夢生(1年小阪中)

卓球 大阪港等学校体育連盟チャレンジカップ 女子I部トーナメント

優勝 酒向初実(2年曙川南中) 3位 工藤朋佳(1年英田中)

吹奏楽 第44回全国高等学校総合文化祭

マーチングバンド・バトントワリング部門マーチングバンド文化連盟賞